

2. 農家のしごと^{のうか}

(1) くだものをつくる農家^{のうか}



フルーツ団地^{だんち}の畑（りんご、もも、なしが作られている。）



平地のりんご畑（しごとがしやすい）



フルーツ団地のりんご畑
(山にかこまれているので強い風にあたらない。)



りんごをつくる

おじさんの話

久田野で、なしやぶどうづくりがはじめられたのは、今から100年以上も前の明治時代です。でもりんごは、ずっとおそく昭和21年（1946年）ごろからつくられるようになりました。この土地が、りんごづくりによく合っていたからです。そして、なによりもここにすむ人たちが、りんごづくりが大すきだったのです。今では、いろいろな種類のおいしいりんごが一年中たべられるようになりました。

まだまだきかいではできないしごとがおおいし、いろいろ心ばいもあり、たいへんですが、たんせいこめてそだてたりんごが、たくさんとれたときのよろこびはかくべつです。